

令和元年度
事業実績報告書

社会福祉法人 秋田県身体障害者福祉協会

目 次

(頁)

I 概 況

[組織運営の実績]	・・・	1
[事業の実績]	・・・	5
【1】（重点目標1） 障害者支援施設秋田ワークセンターの運営・管理	・・・	5
秋田ワークセンター相談支援事業所の運営・管理	・・・	5
コミュニティライフサポート谷内佐渡ホームの運営・管理	・・・	6
【2】（重点目標2） 障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進	・・・	6
【3】（重点目標3） 市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化	・・・	6
【4】（重点目標4） 研修開催による人材育成事業の推進	・・・	7
【5】（重点目標5） 3障害（身体・知的・精神）を統合した事業の推進	・・・	8

II 事業別の概要

【1】 障害者支援施設秋田ワークセンター事業の実績	・・・	8
【2】 秋田ワークセンター相談支援事業の実績	・・・	22
【3】 コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム事業の実績	・・・	24

令和元年度 事業実績報告書

I 概況

法人の運営では、社会福祉法人として社会福祉事業にふさわしい事業を確実に効率的かつ適正に執行するため、正副会長会議をはじめ理事会、評議員会などの諸会議をそれぞれ開催したほか、評議員選任・解任委員会を開催して評議員3名を新たに選任した。

事業では、県からの受託等事業を実施するにあたり、県と連携を図りながら最少経費で最大の効果を挙げることが目標に取り組み、その結果、概ね各事業ともに年度当初の目標を達成した。

日本身体障害者団体連合会との共催により秋田市で実施した「第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会」は、県当局をはじめ、関係する機関・団体からの深いご理解と多大なご支援をいただき、大会期間中全国各地から約1,500名の参加を得て盛大に開催した。

また、県からの受託事業として今年度から実施した小中学校向け障害理解教室では、障害のある方々が講師として県内各地の小中学校に出向き、車いす乗車体験や盲導犬とのふれあい体験、見えない世界を肌で感じる体験や点字を学ぶことによって、児童・生徒に対して障害の特性及び障害者への理解をより一層深める機会を提供した。

「サービス管理責任者等研修」においては、研修制度の見直しによって令和元年度から研修の組立てが大きく変更されたが、受講にあたっての大きな混乱もなく、障害者を地域において支援するための人材の育成を図ることができた。

身体・知的・精神の3障害を統合した「心いきいき芸術・文化祭開催事業」では、多くの作品を展示した障害者福祉展や、出演者のステージでの個性あふれるパフォーマンスなどにより、来場した多くの参加者が勇気と感動を共有し、障害者自身の生きがいや自信の創出に結びつけるとともに、障害者差別解消法に関連した講演会や体験コーナーを通して、昨年度に引き続き同法の制定目的やその概要を県民に周知した。

[組織運営の実績]

1 正副会長会議

- 第1回 ・6月10日（月）・県心身障害者総合福祉センター
- ・出席理事 6名
 - ・協議事項（理事会及び評議員会への提出議題の審査）
 - 1 評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者について
 - 2 理事の選任（案）について
 - 3 監事の選任（案）について
 - 4 会長及び副会長の選任（案）について
 - 5 常務理事の選任（案）について
 - 6 平成30年度事業実績について
 - 7 平成30年度収支決算について
 - 8 社会福祉充実計画について
 - 9 令和元年度第1回評議員会の招集について
- 第2回 ・7月4日（木）・県心身障害者総合福祉センター
- ・出席理事4名

- ・協議事項
 - 1 令和元年度秋田県身体障害者自立更生等表彰式について（表彰審査委員会）
 - ①協会長表彰候補者の審査
 - ②代表受賞者の選出
 - ③副会長の役割分担について
 - ④表彰式次第について
 - ⑤正庁内座席図について

- 第3回
- ・11月13日（水）・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席理事6名
 - ・議題（第3回理事会議題の審査）
 - 1 職員就業規則一部改正（案）について
 - 2 準職員就業規則一部改正（案）について
 - 3 短時間勤務職員就業規則一部改正（案）について
 - 4 障害者支援施設秋田ワークセンター運営規程一部改正（案）について
 - ・第3回理事会協議事項
 - 1 令和2年度以降の負担金について
 - ・第3回理事会報告事項
 - 1 評議員の辞任について
 - 2 第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会の事業報告について
 - 3 秋田市による令和元年度社会福祉施設等指導監査及び指定障害福祉サービス事業者等実地指導の結果について
 - 4 令和元年度日身連要望事項に対する関係府省庁からの回答文書について
- 第4回
- ・令和2年1月20日（月）・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席理事5名
 - ・議題（第4回理事会提出議題の審査）
 - 1 令和元年度資金収支第1次補正予算（案）について
 - ・第4回理事会協議事項
 - 1 市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画（案）について
 - ・第4回理事会報告事項
 - 1 第65回日本身体障害者福祉大会ひろしま大会参加を兼ねた観光旅行参加者の募集について
 - 2 市町村協会に対するヘルプマーク配布希望数とりまとめの依頼について
- 第5回
- ・令和2年3月6日（金）・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席理事6名
 - ・議題（第5回理事会提出議題の審査）
 - 1 評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者について
 - 2 事務局長の選任（案）について
 - 3 秋田ワークセンター所長の選任（案）について
 - 4 会員に関する規程一部改正（案）について

- 5 職員給与規程一部改正（案）について
- 6 令和元年度資金収支第2次補正予算（案）について
- 7 令和2年度事業計画（案）について
- 8 令和2年度資金収支予算（案）について
- 9 令和元年度第2回評議員会の招集について
- ・議題（第2回評議員会提出議題の審査）
 - 1 理事の選任（案）について
- ・議題（第6回理事会提出議題の審査）
 - 1 常務理事の選任（案）について

2 評議員会

- 第1回
- ・6月27日（木）・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席評議員13名・出席監事2名
 - ・欠席評議員5名
 - ・議題
 - 1 理事の選任（案）について
 - 2 監事の選任（案）について
 - 3 平成30年度事業実績について
 - 4 平成30年度収支決算について
 - 5 社会福祉充実計画について
 - ・報告事項
 - 1 評議員の選任について
 - 2 会長、副会長及び常務理事の選任について
- 第2回
- ・書面による決議 ・決議日 3月26日（木）
 - ・同意評議員18名・非同意評議員0名
 - ・議題
 - 1 理事の選任（案）について

3 理事会

- 第1回
- ・6月12日（水）・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席理事9名・出席監事2名
 - ・欠席理事0名・欠席監事0名
 - ・議題
 - 1 評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者について
 - 2 平成30年度事業実績について
 - 3 平成30年度収支決算について
 - 4 社会福祉充実計画について
 - 5 第1回評議員会の招集について
 - ・報告事項

- 1 理事及び監事の選任について
 - 2 会長、副会長及び常務理事の選任について
- 第2回
- ・6月27日(水)・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席理事9名・出席監事1名
 - ・欠席理事0名・欠席監事 1名
 - ・議題
 - 1 会長及び副会長の選任について
 - 2 常務理事の選任について
- 第3回
- ・9月19日(水)・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席理事9名・出席監事1名
 - ・欠席理事0名・欠席監事1名
 - ・議題
 - 1 職員就業規則一部改正(案)について
 - 2 準職員就業規則一部改正(案)について
 - 3 短時間勤務職員就業規則一部改正(案)について
 - 4 障害者支援施設秋田ワークセンター運営規程一部改正(案)について
 - ・協議事項
 - 1 令和2年度以降の負担金について
 - ・報告事項
 - 1 評議員の辞任について
 - 2 第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会の事業報告について
 - 3 秋田市による令和元年度社会福祉施設等指導監査及び指定障害福祉サービス事業者等実地指導の結果について
 - 4 令和元年度日身連要望事項に対する関係府省庁からの回答文書について
- 第4回
- ・令和2年1月20日(金)・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席理事7名・出席監事2名
 - ・欠席理事2名・欠席監事0名
 - ・協議事項
 - 1 市町村協会活性化事業及び障害理解促進事業実施計画(案)について
 - ・議題
 - 1 令和元年度資金収支第1次補正予算(案)について
 - ・報告事項
 - 1 第65回日本身体障害者福祉大会ひろしま大会参加を兼ねた観光旅行参加者の募集について
 - 2 市町村協会に対するヘルプマーク配布希望数とりまとめの依頼について
- 第5回
- ・令和2年3月13日(金)・県心身障害者総合福祉センター
 - ・出席理事8名・出席監事2名
 - ・欠席理事1名・欠席監事0名
 - ・議題

- 1 評議員選任・解任委員会に推薦する評議員候補者について
- 2 事務局長の選任（案）について
- 3 秋田ワークセンター所長の選任（案）について
- 4 会員に関する規程一部改正（案）について
- 5 職員給与規程一部改正（案）について
- 6 令和元年度資金収支第2次補正予算（案）について
- 7 令和2年度事業計画（案）について
- 8 令和2年度資金収支予算（案）について
- 9 令和元年度第2回評議員会の招集について

・報告事項

- 1 理事及び常務理事の選任について

第6回 ・書面による決議 ・決議日 3月26日（木）

・同意理事9名・非同意理事0名

・議題

- 1 常務理事の選任（案）について

4 監査 平成30年度における理事の業務執行状況及び法人の財産の状況を監査

秋田ワークセンター ・6月4日（火）会議室

・出席者 監事2名、会長、事務局長、所長

法人本部事務局

・6月5日（水）県心身障害者総合福祉センター会議室

・出席者 監事2名、会長、事務局長

5 評議員選任・解任委員会

第1回 ・6月14日（金）・県心身障害者総合福祉センター

・出席委員3名

・議題

- 1 評議員の選任（案）について

第2回 ・令和2年3月18日（水）・県心身障害者総合福祉センター

・出席委員3名

・議題

- 1 評議員の選任（案）について

[事業の実績]

【1】（重点目標1）障害者支援施設秋田ワークセンターの運営・管理

内容は8頁に記載

秋田ワークセンター相談支援事業所の運営・管理

内容は22頁に記載

【2】（重点目標2）障害者の自立更生の環境づくりと社会参加の促進

1 自立更生の環境づくり

（1）障害者地域生活支援事業

障害者の自立更生の環境づくりのため、関係団体が自主的な事業に取り組むための助成金を交付するなど、その円滑な事業推進を図った。

参加者数

・オストメイト社会適応訓練	100人
・音声機能障害者発声訓練	248人
・車いす使用者等への理解・啓発	279人
・筋ジス者機能訓練	7人
・車いす使用者のためのレクリエーション	65人

（2）小中学生を対象とした出前講座や体験教室等の実施

障害及び障害者への理解を深めることを目的に、障害のある方が講師として県内各地の小中学校に出向き、講話や児童生徒の障害疑似体験等を通して、障害者との交流を持つことによって、自立更生の環境づくりを図った。

実施期間 9月～11月

実施校数 11校

参加児童数 537人

2 社会参加の促進

（1）身体障害者の更生相談

当協会に「身体障害者総合相談室」を常設し、各種相談に対して適切な指導や助言を行うことで福祉の増進を図った。

相談件数17件

（2）「ジパング倶楽部特別会員」入会等の手続

JR東日本が行っている「ジパング倶楽部特別会員」の入会等の手続を仲介し、障害者の社会参加の促進を行った。

入会件数 ・新規8件 ・更新110件

【3】（重点目標3）市町村身体障害者協会の組織強化と活動の活性化

1 秋田県身体障害者福祉大会の開催

第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会の開催年であったため、例年の県大会を縮小し、「令和元年度秋田県身体障害者自立更生等表彰式」として開催し、県庁正庁において受賞者の長年の功績を称えた。

被表彰者数 ・自立更生功労者13名 ・団体育成功労者19名

2 市町村身体障害者協会長・事務担当者会議の開催

各市町村身障協会の活動事例の情報交換等を行うなど、各団体の活動の活性化に向けた取組みの重要性について、相互理解を深めた。

参加者数 ・北秋田市開催27名 ・秋田市開催14名 ・横手市開催11名

3 軽スポーツレクリエーション大会の実施

障害の程度や年齢に関係なく、仲間と気軽に楽しく参加できる大会を実施し、障害を持つ方々の社会参加と健康維持・増進を図りながら、組織強化にも繋げた。

実施日 10月5日(土)

会場 秋田県社会福祉会館

参加者数 ・卓球バレー 68名 ・フライングディスク 39名

4 会報「身障秋田」の発行

当協会の事業活動や、予算・決算を掲載した会報「身障秋田」を作成し、市町村協会会員等に配布することにより、市町村協会活動の活性化と関係団体への広報を促進した。

発行月 1月

発行部数 4,000部

5 第64回日本身体障害者福祉大会あきた大会の開催

日本身体障害者団体連合会に所属する全国の身体障害者が一堂に会し、今後の障害者施策について協議するとともに、障害者の自立と社会参加を積極的に展開・発展させ、福祉の増進を図った。

実施日 5月22日(水)・23日(木)

会場 秋田県立武道館、秋田キャッスルホテル

大会内容 歓迎レセプション、式典・表彰、政策協議報告、大会宣言・大会決議採択ほか

参加者数 約1,500名

6 ホームページの運営

障害者情報ネットワーク「ノーネット」を活用した当法人のホームページを開設し、障害者福祉に関する各種情報を提供したほか、市町村協会の紹介と会員加入の呼び掛けを行った。

年間アクセス数 7,898件

【4】(重点目標4) 研修開催による人材育成事業の推進

1 サービス管理責任者(児童発達支援管理責任者)研修の実施

障害者総合支援法の適切かつ円滑な運営に資するため、サービスの質の確保に必要な知識や技能を有するサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者を養成した。

研修日数 8日間

受講者数 474名

2 サービス管理責任者等指導者養成研修

都道府県が実施する「サービス管理責任者研修及び児童発達支援管理責任者研修」において、企画立案・運営又は講師として中心的な役割を担う指導者を養成するための研修に係る事業所の職員を派遣した。

研修日 6月12日(水)～6月14日(金)

会場 国立障害者リハビリテーションセンター学院(埼玉県所沢市)

受講人数 6名

【5】(重点目標5)3障害(身体・知的・精神)を統合した事業の推進

1 第19回心いきいき芸術・文化祭の開催

障害者が芸術・文化活動への参加を通して、障害者本人の生きがいや自信を創出し、障害者の自立と社会参加を促進するとともに、障害者に対する県民の理解と認識を深めた。

作品応募数 ・身体78点 ・知的101点 ・精神124点

製品販売施設数 27事業所

パフォーマンスステージ出演者数 ・団体5組 ・個人2名

2 「障害者110番」の設置・運営

障害者の権利擁護にかかる相談等に対応するため、相談窓口を常設し、内容に応じて弁護士等による専門相談を行うなど、障害者の福祉の増進を図った。

相談件数 ・身体30件 ・知的1件 ・精神72件

・弁護士相談3件(内数)

3 秋田県障害者社会参加推進センターホームページの運営

障害者情報ネットワーク「ノーマネット」を活用した推進センターのホームページを開設し、センターが実施する事業の紹介や、身体・知的・精神障害者に関する各種情報を提供した。

年間アクセス数 6,487件

II 事業別の概要

【1】障害者支援施設秋田ワークセンター事業の実績

1 総括

今年度の事業については、おおむね計画のとおり実施することができたが、新型コロナウイルス感染症に関しては、1月15日に国内で初めて感染者が確認され、それ以降、国・県等から様々な注意勧告等がなされ施設内での感染予防対策に取り組んできた。現在、当施設関係者から感染者や濃厚接触者は出なかったが、今後も適切な感染防止対策を徹底していく必要がある。

事業の収支においては、入所利用者の重度化・高齢化が顕著となり当施設での対応が不可能となり病院へ入院して他施設へ入所した方や、地域生活に移行するためグループホームへ移行した方がいた一方で、新たな入所者が少なく、関係機関からの情報収集に努めたが、収支のバランスを改善することは出来なかった。

また、着実に進んでいる入所利用者の重度化・高齢化への対応として介護職員を増員し、利用者の支援体制の充実に努めた。併せて、生活介護事業における利用者等への事業所の広報活動と日中活動の充

実にも努めているところである。

就労支援事業では、官公需による受注が多少増加傾向にあるが、それ以外の一般客からの受注が5%ほど減少した。そして生産用機械及び器具の消耗があり、機器の整備、更新に計画的に取り組んだところである。

令和元年度の事業実績は次のとおりである。

2 定員及び現員の状況

(令和2年3月31日現在)

施設入所支援事業 利用定員 48名 / 現員 44名 (男性31名、女性13名)
 生活介護支援事業 利用定員 40名 / 現員 40名 (男性27名、女性13名)
 就労継続A型事業 利用定員 10名 / 現員 7名 (男性7名、女性0名)
 就労継続B型事業 利用定員 30名 / 現員 32名 (男性25名、女性7名)

3 職員配置の状況

(令和2年3月31日現在)

職 種	職員数		担 当 業 務
	令和元年度	30年度	
所 長	1	1	所内の総括、苦情解決責任者、会計責任者
サービス管理責任者	2	2	利用者の個別支援計画、アセスメント、利用計画原案、モニタリング等相談業務及び記録等の確認 (生活介護・施設入所支援事業1名、就労支援事業1名)
事務員 (支援員兼務)	4(2)	4(2)	サービス区分の予算・決算の事務処理及び金銭の出納 利用者利用料の請求・精算業務等、職員の給与、福利厚生業務、利用者支援等
生活支援員	12(10)	9(7)	生活介護支援及び日常生活支援、相談業務
就労支援員	9(4)	8(3)	作業支援及び指導、製品管理、営業販売、相談業務
看 護 師	2	2	利用者及び職員の健康管理
栄 養 士	2(1)	2(1)	利用者の給食献立、利用者の栄養管理
調 理 員	3(3)	4(4)	給食業務
嘱 託 医	1(1)	1(1)	利用者の健康管理、医務相談
そ の 他	4(4)	2(3)	給食業務補助
合 計	39(21)	34(20)	

※職員数の()の数は嘱託職員・非常勤職員及びパート職員の再掲

4 事業の実施状況

(1) 施設入所支援事業

入所利用者の重度化・高齢化が進み、利用者がより安全に、安心して暮らせるように支援の充実に努めた。しかし、夜勤1名体制である現実では今以上に重度の利用者の入所には無理がありやむを得ず入所を断らざるを得ないケースもあった。個別支援計画では、利用者へのアセスメントやモニタリングに十分時間をとり、利用者のニーズを達成するため関係者で話し合いを行い、個別支援の充実に図った。

また、利用者の身辺自立を妨げないよう考慮した施設設備の改善を進めるとともに、切れ目のない支援が出来るよう、夜勤者及び日勤者が起床・就寝時、朝・夕の食事前後、土日・祭日及び緊急時に

おける様々なニーズに対応するため、情報共有化を図り支援の充実に努めた。

更に、職員のチーム化や支援動作の検証を行い、マニュアル化し、職員個々の無駄な動きや重複支援を省くなど、効果的な支援の実施やリスク軽減のための支援体制の整備を行い、利用者が日々、人と人とのふれあいを大切に思う心の助長や、健康管理、食事・排せつ支援及び日々の生活相談や各種情報提供を行うなど、充実感を得られるようなサービスの提供に努めた。

(2) 生活介護支援事業

利用者のニーズに応える日中活動プログラムの充実に努め、利用者が望む日々の生活の実現に努め、多様な創作活動やレクリエーション、食事や入浴、排せつの介護、生活情報の提供など、日常生活における個人支援プログラムに沿ったサービス提供に努めた。

更に、身体の機能維持や健康の保持、増進のために理学療法士による機能訓練計画を立て、計画に沿った訓練を実施し、通院・受診及び服薬支援のサービス提供を行った。

食生活の充実のため、配膳や下膳はもちろんのこと、個人に合った福祉用具を準備し、年齢とともに低下する嚙む力や飲み込む力の低下予防のため、「お口の体操」をほぼ毎日行うなど、口腔機能の維持・強化に努めた。

日常生活における季節感を大切にし、夏祭り、日帰り旅行、地区運動会、小学校生徒とのだまっこ交流会、クリスマス会等の行事や買物支援・外食支援を行い、四季折々に地域の様々な方々との交流が出来るように努めた。

(3) 就労継続支援事業

景気状況はゆるやかな回復の兆しがあり、売上目標 6,150 万円に対し、6,350 万円と今年度の目標を達成することが出来た。しかし、年々機械設備の老朽化もあり修繕にかかる費用も多くなっている。

利用者の工賃及び賃金の総支給額は 17,438 千円で、前年比 653 千円の減額となっている。

① 就労継続支援A型事業

印刷事業の受注先は一般企業からの発注が大半を占めている。障害者優先調達推進法の施行により、労働局、高齢障害求職者雇用支援機構等からの官公需の随意契約による受注が若干ではあるが増えてきている。また、県からも数件受注するなど、今後の受注増に期待が持てる状況である。

更に、秋田市役所からの受注は、他施設との競争入札で価格競争が厳しく、収益の確保が難しくなっている状況にある。

年賀はがきの印刷は、例年通り既存の顧客に対してダイレクトメールを送送し、受注の確保に努めてきたが、顧客の高齢化や若者の年賀状離れにより受注件数、受注枚数は年々減少してきている。

営業面に於いても、当施設の福祉事業に理解のある企業関係、あるいは学校や保育所、地区社協等に対して会報作成等の情報収集と営業活動を行っているが、競争が厳しく売上の増加には結びつかない状況にあるが、障害者優先調達推進法や共同受注といった制度を活用し収益に結びつく営業活動を継続している。

リサイクル作業は、取引企業や福祉施設、古紙ステーションを利用しての地域住民等から安定した回収作業ができるようになったが、全体として回収量は横ばい状態である、しかし買取り金額の下落が続いている状況があり厳しい状況が続いている。

② 就労継続支援B型事業

軍手作業の受注数は、減少傾向にあり売り上げも減少している。原材料費の値上げが続いていることに加え、軍手編み機の老化に伴い修繕が必要な状況であるが、質の高い製品作りを行うため、随時

点検整備を実施し、品質確保に努めている。

ウエス作業の受注件数、収益も減少傾向にある。営業活動も継続しているが、新規開拓・受注へは中々繋がっていない。材料確保は時期により困難な場合もあるが、情報収集を図りながら納期に遅延が生じることのないように取り組んでいる。

清掃作業は、施設内の清掃を受託し、現在5名が従事しており、安定した収入源となっている。また、入所利用者の快適な環境づくりにも大きく貢献している。

受託作業として、比較的多くの利用者が出来る銅線の皮むき作業を行い、毎月1トン为目标として取り組んでいる。

5 施設の整備状況

① 高圧受電設備更新工事

耐用年数が経過しているため、部品の交換を行った。

② 非常発電機始動用蓄電器交換工事

耐用年数が経過しているため、部品の交換を行った。

③ 避難通路段差改修工事

年数経過により段差が顕著となり、避難時転倒等の事故を防ぐため改修を行った。

④ 排水マンホール陥没舗装復旧工事

玄関横のマンホールの周囲のアスファルトが陥没し危険であるため、改修工事を行った。

⑤ 機械室給水ポンプ修繕工事

機械室にある給水ポンプより漏水があり、修繕を行った。

6 機器の購入及び設備の整備状況

(1) 施設全般

① 第2作業棟エアコンの交換

年数経過により交換した。

② 調理員休憩室エアコンの交換

年数経過により交換した。

(2) 生活介護支援事業

① エアーマットレスの増設

② リクライニング車椅子

③ センサーマットの導入

(3) 就労継続支援事業

① 印刷事業 オフセット印刷機を購入した。

② 印刷事業 針金綴り機を購入した。

7 給食提供の状況

(1) 行事食・選択食の実施

四季折々の日本の食文化や斬新なアイデアを盛り込んだメニューなど、満足感や幸福感など心理的な面も大切にしながら、楽しい豊かな食事提供を目指し、年17回の行事食と10回の選択食を実施

した。

(2) 利用者の健康づくり

年4回の食事摂取調査、身体・健康状況に関するデータを支援員、看護師などの専門職と共有、連携し、個別の栄養ケア・マネジメントの実施により、健康的な身体機能の維持、増進のために栄養と健康の管理に努めた。生活習慣病の重篤化と合併症予防のため、栄養バランスと節塩を重視したメニュー提供と食事指導を実施した。

(3) 福祉弁当

下北手地区社会福祉協議会から委託を受けて、地域の独居老人に対して月1回(6月～9月の夏季間は中止)、年間74食の福祉弁当を提供した。

8 健康管理の状況

(1) 定期健康診断等

健康管理のために年2回の定期健康診断、月1回の嘱託医の診察や体重測定、週1～2回の血圧測定などの健康管理面での充実を図り、疾病の早期発見・早期治療に努めた。

また、利用者の98%は何らかの疾病を抱え治療中であるため、定期通院、内服管理の徹底に努めた。

(2) インフルエンザ予防

インフルエンザ予防のために、予防接種料金を一部施設負担で希望者(利用者64名、職員43名)に行った。罹患者は職員3名で感染の拡大はなかった。

(3) ノロウイルス等感染症予防

所内での感染を防ぐために、施設内の消毒、普段の手洗い、うがいを励行し、朝の会やポスターの掲示等を通じて清潔感の助長に努めるとともに、所内研修において発生時の対応についての手順、注意事項を確認した。今年度の罹患者はなかった。

(4) 機能訓練の実施

平日の月曜日から金曜日の午後1時半から午後3時まで、理学療法士の作成した個別プログラムに添った機能訓練を実施し、身体機能の保持増進を図った。

また、平日の11時20分から11時40分(昼食前)に「お口の体操」を行い、口腔機能の低下防止に努めた。

(5) 新型コロナウイルス感染症予防

国内での新型コロナウイルスの感染拡大により、国・県・市からの指導を基に感染予防の徹底を図った。

9 衛生管理の状況

(1) 寝具類の交換及びシーツ交換

寝具類(枕、掛布団・毛布等)の交換を年1回、シーツ・カバー類(シーツ、布団・毛布カバー)は毎週1回行い、寝具類の清潔に努めた。

(2) 居室、浴室及び便所等の清掃

利用者の居室清掃(荷物の整理整頓を含む)を週1回以上行うとともに、共用部分であるトイレ、浴室、脱衣室、廊下、多目的ホール等の清掃及びワックスがけを適宜行い、衛生管理に努めた。

(3) 入浴

一般入浴を月・木曜日の午後1時から午後5時まで行い、7月～9月の期間は水曜日にもシャワー浴を行った。

介護及び支援入浴は火・金曜日に行い、女子は午前10時00分から午前12時00分まで、男子は午後1時30分から午後4時00分までとした。その他、入浴の出来ない利用者には清拭等も行いながら、身体の衛生保持に努めた。

10 災害事故防止等訓練の状況

(1) 重度障害者への防災上の配慮

- ① 同室者（2人部屋）への配慮として、できるだけ歩行の困難な人同士、聴覚障害者同士等の組み合わせにならないよう配慮し、やむを得ず同室にする場合は、緊急呼出ベルの設置や隣室者からの協力や職員への通報を密にするなど配慮した。
- ② 障害の程度によって避難路の確保に努めた。また、歩行の困難な人、目の不自由な人等は避難口に近い居室にするなど配慮した。
- ③ ベッドで寝たままの状態での避難ができるよう工夫した。
- ④ 予備の車椅子を設置した。
- ⑤ 浴室・脱衣室から容易に避難できるよう介護用布担架を常備している。

(2) 事故や災害防止と安全のために

① 防災計画

きめ細やかな消防・防災計画の整備と万全な備えを行い、予防に重点を置いた取り組みを実施し、設備の点検・管理や整理・整頓を徹底した。

② 避難訓練

所轄の秋田市城東消防署の指導を得て、日中・夜間（想定）も含めた総合訓練（通報、初期消火、避難の消火器操作訓練等）や、地震想定での避難訓練を行うと共に、災害を未然に予防する防火思想の普及・徹底を図った。

また、災害時や停電時における安全対策や機械器具、装置の操作手順の周知に努めた。

発電機からコンセントまでの電線の整備を行い、停電時でもナースコール対応ができるよう、電源の確保を行った。

11 就労支援事業の研修

事業名	研修日	研修場所	参加者数	備考
就労A・B型事業利用者・家族会合同研修	7月5日(金)	・一関ワークキャンパス ・梺鼻溪舟くんだり	A型6名、B型17名、 家族会4名、合計27名	

12 就労支援事業の推移

(1) 事業収入額の推移

(単位：円)

年度\事業	就労移行支援 (内部加工)	就労継続支援 A型(雇用型)	就労継続支援 B型(非雇用型)	年度総計
平成27年度	33,750	45,941,768	18,228,562	64,204,080
平成28年度	89,300	43,829,004	19,345,495	63,263,799

平成 29 年度	101,002	42,248,135	20,278,509	62,627,646
平成 30 年度	0	46,246,214	20,825,252	67,071,466
令和 元年度	0	49,158,665	14,350,632	63,509,297

(2) 工賃支給実績額の推移

(単位：円)

年度\事業	就労移行	就労継続支援A型	就労継続支援B型	年度総計
平成 27 年度	33,750	14,525,502	4,994,510	19,553,762
平成 28 年度	89,300	13,233,154	5,795,050	19,117,504
平成 29 年度	88,850	13,602,256	3,597,700	17,288,806
平成 30 年度	0	12,183,983	5,908,490	18,092,473
令和 元年度	0	12,291,748	5,146,910	17,438,658

13 利用者の状況

令和2年3月31日現在

(1) 生活介護事業・施設入所

(施設入所には就労支援事業利用者 10 名を含む)

① 市町村別の入所、生活介護利用者数

区分	入所利用者			生活介護利用者			合計
	男	女	計	男	女	計	
秋田市	18	10	28	16	11	27	55
男鹿市	2	1	3	2	1	3	6
横手市	0	1	1	0	0	0	1
大仙市	4	0	4	4	0	4	8
能代市	3	0	3	3	0	3	6
北秋田市	1	0	1	0	0	0	1
にかほ市	1	0	1	0	0	0	1
小坂町	1	0	1	1	0	1	2
三種町	1	1	2	1	1	2	4
合計	31	13	44	27	13	40	84

② 年齢別、性別の状況

区分	入所利用者			生活介護利用者			合計
	男	女	計	男	女	計	
20歳未満	0	0	0	0	0	0	0
20～29	0	0	0	0	1	1	1
30～39	1	0	1	3	1	4	5
40～49	2	3	5	1	2	3	8
50～59	5	4	9	3	3	6	15
60～69	13	4	17	11	4	15	32
70歳以上	10	2	12	9	2	11	23
合計	31	13	44	27	13	40	84
平均年齢	63 歳	57 歳	61 歳	62 歳	54 歳	59 歳	59 歳

③ 入所、生活介護利用者所在期間の状況

区分	入所利用者			生活介護利用者			合計	
	男	女	計	男	女	計	人数	比率
1年未満	2	2	4	2	2	4	8	10%
1年以上～3年未満	4	0	4	3	0	3	7	8%
3年以上～5年未満	2	3	5	1	2	3	8	10%
5年以上～10年未満	1	1	2	1	1	2	4	5%
10年以上～15年未満	9	1	10	20	8	28	38	45%
15年以上	13	6	19	0	0	0	19	22%
合計	31	13	44	27	13	40	84	100%

④ 出身世帯の状況

区分	入所利用者		生活介護利用者		合計	比率
	男	女	男	女		
親が生存	10	4	8	5	27	32%
兄弟、姉妹世帯	13	7	12	6	38	45%
配偶者の有	1	0	0	0	1	1%
甥、姪、叔父、叔母の世帯	2	1	2	1	6	7%
息子、娘の世帯	3	1	3	1	8	10%
無世帯	2	0	2	0	4	5%
合計	31	13	27	13	84	100%

⑤ 年金受給状況

区分	入所利用者		生活介護利用者		合計	比率
	男	女	男	女		
国民年金障害基礎年金	18	9	16	10	53	60%
厚生年金	5	2	4	1	12	14%
老齢年金	2	0	2	1	5	6%
生活保護	6	2	5	1	14	16%
未受給	2	0	2	0	4	5%
合計	33	13	29	13	88	100%

(重複年金者有)

⑥ 入所、生活介護利用者数とその経路

区分	入所利用者			生活介護利用者			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
施設(更生、授産他)	23	9	32	20	8	28	43	17	60
自宅	5	2	7	5	3	8	10	5	15
病院	3	2	5	2	2	4	5	4	9
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	31	13	44	27	13	40	58	26	84

⑦ 障害支援区分の状況

生活介護利用者

区分	1	2	3	4	5	6	非該当	合計
利用者数	0	3	13	14	7	3	0	40

施設入所利用者

区分	1	2	3	4	5	6	非該当	合計
利用者数	0	5	17	14	7	0	1	44

⑧ 退所利用者数と退所理由

区分	入所利用者			生活介護利用者			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
自宅（家庭復帰）	0	1	1	0	1	1	0	2	2
措置変更（他施設）	0	0	0	0	1	1	0	1	1
措置変更（入所から通所）	0	1	1	0	0	0	0	1	1
その他	2	0	2	2	0	2	4	0	4
合計	2	2	4	2	2	4	4	4	8

(2) 就労支援事業 () 内の数字は施設入所者

① 市町村別利用者数

区分	A型通所利用者			B型通所利用者			合計
	男	女	計	男	女	計	
秋田市	7	0	7	21(5)	5(1)	26(6)	33(6)
男鹿市	0	0	0	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)
横手市	0	0	0	0(0)	2(1)	2(1)	2(1)
能代市	0	0	0	1(0)	0(0)	1(0)	1(0)
由利本荘市	0	0	0	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
北秋田市	0	0	0	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)
にかほ市	0	0	0	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)
潟上市	0	0	0	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計	7	0	7	25(7)	7(2)	32(9)	39(9)

② 年齢別、性別の状況

区分	A型通所利用者			B型通所利用者			合計
	男	女	計	男	女	計	
20歳未満	0	0	0	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
20～29	0	0	0	6(0)	2(0)	8(0)	8(0)
30～39	1	0	1	3(0)	3(0)	6(0)	7(0)
40～49	2	0	2	5(2)	1(1)	6(3)	8(3)
50～59	3	0	3	5(2)	1(1)	6(3)	9(3)

60～69	1	0	1	5(2)	0(0)	5(2)	6(2)
70歳以上	0	0	0	1(1)	0(0)	1(1)	1(1)
合計	7	0	7	25(7)	7(2)	32(9)	39(9)
平均年齢	51歳	0歳	51歳	44歳	36歳	42歳	46歳

③ 出身世帯の状況

区分	A型通所利用者				B型通所利用者			
	男	女	合計	比率%	男	女	合計	比率%
親が生存	4	0	4	57%	19(5)	7(2)	26(6)	81%
兄弟、姉妹世帯	1	0	1	14%	6(2)	0(0)	5(2)	19%
配偶者の有	1	0	1	14%	0(0)	0(0)	0(0)	0%
息子、娘の世帯	0	0	0	0%	0(0)	0(0)	0(0)	0%
家庭消滅	1	0	1	14%	0(0)	0(0)	0(0)	0%
合計	7	0	7	100%	25(7)	7(2)	32(9)	100%

④ 年金受給状況

区分	A型通所利用者				B型通所利用者			
	男	女	合計	比率%	男	女	合計	比率%
国民年金障害基礎年金	5	0	5	72%	17(3)	7(3)	24(8)	75%
厚生障害年金	1	0	1	14%	2(2)	0(0)	2(2)	6%
老齢年金	0	0	0	0%	0(0)	0(0)	0(0)	0%
生保と年金	0	0	0	0%	2(1)	0(0)	2(1)	6%
未受給	1	0	1	14%	4(0)	0(0)	4(0)	12%
合計	7	0	7	100%	25(6)	7(3)	32(9)	100%

⑤ 利用に至る直前の状況

区分	A型通所利用者			B型通所利用者			合計
	男	女	計	男	女	計	
他の事業所	6	0	6	4	0	4	10
自宅	1	0	1	3	0	3	4
病院	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	11	5	16	16
合計	7	0	7	18	5	23	30

⑥ 障害支援区分の状況

A型通所利用者

区分	1	2	3	4	5	6	非該当	合計
利用者数	0	1	0	0	0	0	6	7

B型通所利用者

区分	1	2	3	4	5	6	非該当	合計
利用者数	1	3	8	3	1	0	7	23

⑦ 退所利用者数と退所理由

区分	A型通所利用者			B型通所利用者			合計
	男	女	計	男	女	計	
自宅(家庭復帰)	0	0	0	1	0	1	1
他施設に変更	0	0	0	0	0	0	0
入所から通所	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	1	1
合計	0	0	0	2	0	2	2

(3) 利用者の診察、処置等の状況

区分	施設医務室における処置		入院		通院		
	実人員	延処置日数	実人員	延日数	実人員	延日数	
診療科目	内科系疾患	5	532	5	238	46	434
	外科系疾患	15	2,069	1	10	12	59
	精神科	0	0	1	50	9	65
	皮膚科	32	4,923	0	0	29	174
	眼科	9	1,197	0	0	20	34
	歯科	0	0	0	0	16	113
	耳鼻科	1	10	0	0	10	16
	泌尿器科	0	0	1	12	5	172
	その他	0	0	0	0	2	4
合計	62	8,731	8	310	149	1,071	

(4) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)、結核、疥癬等感染症等の予防対策及び実施状況

予防対策	実施状況
① (MRSA) : うがい、手洗いの励行。看護者の処置始めと終わりに手洗い消毒を徹底する。高圧蒸気滅菌器により器具を消毒 自動手指消毒器を設置	① 紙コップ、ペーパータオルを置き、声かけをし、うがい、手洗いの励行に努めた。また、通院後、手指消毒器により消毒し、処置の始め、終わりにも消毒を実施した。
② 結核 : 1回/年、胸部レントゲン写真の撮影、内科検診	② 結核検診を1回/年、内科検診を2回/年実施
③ 疥癬 : 清潔、センター周囲の環境整備	③ 寝具類の清潔を図る。寝具の交換(年一回以上)、シーツ交換1回/週
④ ノロウイルスによる感染性胃腸炎、病原性大腸菌O-157 手洗い、うがい、身体の抵抗力を養う。異常の早期発見。自動手洗機、石鹼液の設置	④ 安全な食事の提供。手洗いの徹底。体調不良者を早期にチェックする。
⑤ インフルエンザ : インフルエンザワクチン接種	⑤ インフルエンザワクチンの接種。利用者64名、職員43名

(5) 新型コロナウイルス感染症の予防対策及び実施状況

予防対策	実施状況
①職員の対応	①マスクの着用、手洗いうがいの徹底
②出勤の有無について	②出勤時の検温。同居家族の観察
③利用者の通院について	③マスクの着用、手洗いうがいの徹底
④私用の外出について	④不要不急の外出はしない、マスクの着用、手洗いうがいの徹底
⑤送迎支援について	⑤送迎車内の消毒
⑥入所利用者の検温	⑥検温と聞き取りによる早期発見
⑦施設内の感染防止対策	⑦換気と共用部分の消毒

(6) 利用者の健康診断

期間	実施人員	調査項目	検査機関
6月5日～ 7月11日	11名	胸部X線検査（直接）	中通りハビリ病院
	27名	〃（直接）	ふき健診クリニック
	6名	大腸がん（便潜血）	〃
	28名	採血（貧血、肝機能）	〃
	31名	心電図	〃
	42名	視力検査	〃
	29名	聴力検査	〃
	38名	尿検査	〃
7月25日～ 8月8日	全員	内科検診、聴打診、血圧測定、問診	鎌田内科クリニック
4月24日～ 6月5日	7名	生活習慣病予防検査（A型利用者）	秋田赤十字病院
	6名	大腸ガン検査	ふき健診クリニック
	2名	胃検診	ミチヒロ胃腸内科
令和元年 1月9日～ 3月12日	全員	内科検診、問診 血圧測定	鎌田内科クリニック

14 職員の定期健康診断

期間	実施人員	実施職種	検査項目	検査機関
6月5日～ 7月19日	15名	35歳以下	胸部X線検査、尿検査、心電図	ふき健診クリニック
		の職員	、採血検査他 （労働安全衛生法66条に基づく検査）	〃 〃
4月23日～ 2月5日	25名	35歳以上	生活習慣病予防検査	秋田赤十字病院
		の職員	大腸がん検査、乳癌 子宮がん、胃検診	附属あきた健康管理センター 市立秋田総合病院

12月5日～ 1月31日	12名	夜勤職員	血圧、問診、尿、身長、体重	ふき健診クリニック
-----------------	-----	------	---------------	-----------

15 避難訓練の実施

月日	訓練の想定	訓練内容詳細
5月29日	災害時通報装置連絡網、伝達・駆け付け訓練	全職員による災害時通報装置作動訓練、緊急連絡網伝達訓練、施設への職員駆け付け訓練
6月19日	救急救命講習	城東消防署員による救急処置の手順（心肺蘇生とAEDの使用手順）
7月17日	夜間火災想定訓練、消火器操作訓練	非常通報、初期消火、避難誘導、救急救護、非常放送、停電時非常発電機操作（照明、給水ポンプ）
10月9日	日中火災想定訓練、消火器操作訓練	全職員による非常通報、初期消火、避難誘導、救急救護、非常放送、煙体験
令和2年 2月19日	日中地震想定訓練	全職員による非常放送、避難誘導、救急救護

16 所内研修の実施

実施日	実施内容	講師及び解説者	摘要
6月19日	救急救命講習 e-ラーニング（応急手当WEB講習） 救急処置の手順 （心肺蘇生法とAEDの使用手順）	城東消防署員 1名	参加者：7名 支援員、事務員、調理員
6月26日	急変時の判断、対応方法について 1 救急車を要請する場合 2 症状別対応について （外傷等の手当）	土田看護師	参加者：8名 支援員、事務員、看護師
10月2日	感染症の予防対策について 1 感染予防対策の基本について 2 ノロウイルス・インフルエンザについて 3 下痢・嘔吐症状のある方への対応について 4 実技（手の洗い方、エプロンの着脱等）	土田看護師	参加者：15名 支援員、相談員、事務員、栄養士

11月6日	「これからも安心して暮らせるために」 ～親亡き後の困りごと相談について～ 1 あきた結いネットの取り組み 2 トータルライフ支援事業の支援 3 成年後見制度等の関係	NPO法人 あきた結いネット	参加者：110名 利用者 68名 家族会 17名 下北手地区 民児協 2名 職員 23名
12月26日 1月23日 2月21日	障害者虐待防止・権利擁護研修(虐待防止 マネージャーコース)の伝達研修 1 障害者虐待防止法の理解と対応に ついて	加賀谷サービス管理 責任者、 安田支援員	参加者：31名

17 所外研修の実施

実施日	研修内容	参加の状況
5月16日	甲種防火管理新規講習 秋田市 秋田市文化会館	地域生活支援課長
5月22日 ～23日	福祉保健施設・事業者等職員新任研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員1名
6月3日 ～4日	キャリアパス対応生涯研修(中堅職員コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	就労支援員1名
6月12日	相談支援従事者及びサービス管理責任者指導者養成研修 秋田市 秋田地方総合庁舎	就労支援課長
6月13日	安全運転管理者講習会 秋田市 秋田県庁第2庁舎	総務管理課長
7月11日 ～12日	就業支援基礎研修、キャリアパス対応生涯研修(中堅職員コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	就労支援員1名
7月23日 ～25日	就業支援基礎研修 秋田市 ユースパル	就労支援員1名
7月30日 ～31日	キャリアパス対応生涯研修(チームリーダーコース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	サービス管理責任者 (就労)1名
8月2日	相談支援従事者現任研修 秋田市 中央地区老人福祉総合エリア	相談支援員1名
8月19日	ロジカルシンキング研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	総務管理課長
8月23日	危険物取扱者保安講習 秋田市 秋田市文化会館	事務員1名
8月23日	発達障害者地域支援者研修会 秋田市 秋田県庁第2庁舎	相談支援員1名 就労支援員1名
8月27日 ～28日	全国身体障害者施設協議会研究大会 札幌市 札幌コンベンションセンター	所長、看護師 生活支援員 栄養士
8月28日 ～29日	相談支援従事者現任研修 秋田市 遊学舎	相談支援員1名
9月4日	サービス管理責任者研修更新研修のファシリテーター養成視察研修 神奈川県厚木市 厚木市文化会館	就労支援課長
9月5日	障害者総合支援法に基づく集団指導 秋田市 秋田市役所「センタース」	所長
9月13日	福祉保健施設等職員メンタルヘルス研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	看護師1名

9月17日	施設給食担当職員研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	栄養士1名
9月19日 ～20日	東北ブロック身体障害者施設職員研修会 仙台市 仙台サンプラザホテル	サービス管理責任者 相談支援員
9月30日	OJTリーダー研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	地域生活支援課長
10月1日	共同受注推進セミナー 秋田市 秋田県社会福祉会館	就労支援員1名
10月8日	クレーム対応研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員1名
10月8日	東北地区社会就労センター協議会職員研修会 秋田市 秋田県社会福祉会館	所長
10月10日	秋田市感染予防研修会 秋田市 秋田県生涯学習センター	看護師1名
10月16日	福祉保健施設・事業者等看護職員研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	看護師1名
10月17日	秋田県身体障害者施設協議会職員研修会 秋田市 ユースパル	所長、生活課長 サビ管、事務員
10月22日	支援員のための成年後見活用講座 秋田市 中央地区老人福祉総合エリア	生活支援員1名
10月30日	東北ブロック身体障害者施設協議会職種別(専門)研修会 仙台市 仙台市中小企業活性化センター・エルソーラ仙台	所長、総務課長 看護師、栄養士
11月7日	サービス管理責任者更新研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	サービス管理責任者 1名
11月8日	サービス管理責任者更新研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	就労支援課長 サービス管理責任者1名
11月8日	秋田マックセミナー依存症に関わる支援者研修会 秋田市 秋田文化会館	看護師1名
11月19日	障害者虐待防止・権利擁護研修(虐待防止マネージャーコース) 秋田市 中央地区老人福祉総合エリア	サービス管理責任者1名 生活支援員1名
11月26日	安心・安全な介護技術教室研修 秋田市 秋田県社会福祉会館	生活支援員1名
11月28日	給与大臣NX年末調整セミナー 仙台市 花京院スクエア	事務員1名
12月13日	成年後見制度利用促進実務研修会 秋田市 秋田県生涯学習センター	相談支援員1名
12月17日 ～18日	キャリアパス対応生涯研修(チームリーダーコース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	事務員1名
12月18日	サービス管理責任者及び障がい者就労支援に関わる職員と相談支援 専門員による研修会 秋田市 秋田市役所「センタース」	サービス管理責任者1名 相談支援員1名
12月19日 ～20日	キャリアパス対応生涯研修(中堅職員コース) 秋田市 秋田県社会福祉会館	GH生活支援員1名
1月15日	社会福祉施設における労働災害防止等講習会 秋田市 秋田市文化会館	総務管理課長

【2】秋田ワークセンター相談支援事業の実績

1 総括

障害福祉サービス等を申請した利用者に対して、サービス等利用計画の作成およびモニタリングを行う計画相談を実施し、対応件数も若干増加している。計画相談業務以外の対応や家族からの相談が増えてきている。契約件数が132件と非常に多い状況だが、利用者の相談ニーズに最大限努めてきた。今後とも柔軟な人員配置等により、業務の効率化と質の高い継続性のある相談支援業務の実現が望まれる。

また秋田市における障害福祉のシステムづくりに関し、中核的な役割を果たすことが期待されている「秋田市障がい者総合支援協議会相談支援部会」や障害者の地域移行を推進するために整備された「地域生活支援拠点事業」の運営に関する部会の委員として積極的に関わった。

令和元年度の事業実績は以下の通りである。

2 事業及び職員

- (1) 事業 指定特定相談支援事業 (計画作成)
- (2) 職員 管理者 1名 (常勤・兼務)
相談支援専門員 1名 (常勤・専任)

3 事業の内容

- (1) サービス等利用計画の作成及び提出
- (2) サービス等利用計画作成後の便宜の提供
- (3) サービス等利用計画の変更

4 事業の主な対象者

- (1) 身体障害者
- (2) 知的障害者

5 月別件数

月	サービス等利用計画作成		モニタリング	
	身体	知的	身体	知的
4月	17	23	6	2
5月	1	4	10	13
6月	3	1	3	14
7月	2	2	3	8
8月	3	6	7	6
9月	0	2	15	21
10月	3	1	2	2
11月	0	3	16	5
12月	9	7	4	0
1月	0	10	3	9
2月	3	2	3	2
3月	3	7	16	8
計	44	68	88	90
総数	112 (95)		178 (168)	

() は前年度実績

6 会議・研修への参加

期間	内容	出席者
月1回(8月～2月)	障がい者総合支援協議会相談支援部会 秋田市 あきぎんスタジアム会議室	相談支援専門員
7月19日	秋田県障がい者総合支援協議会・相談支援関係者 ネットワーク会議 秋田県庁第2庁舎	相談支援専門員
8月2日	秋田県相談支援従事者現任者研修 秋田市 中央地区老人福祉総合エリア	相談支援専門員
8月23日	発達障害者地域支援者研修	相談支援専門員

8月28日～29日	秋田県庁第2庁舎 秋田県相談支援従事者現任者研修 秋田市 遊学舎	相談支援専門員
9月19日～20日	第43回東北ブロック身体障害者施設職員研修会 仙台サンプラザホテル	相談支援専門員
11月27日	第1回相談支援部会（地域生活支援拠点プロジェクト） 秋田市 あきぎんスタジアム会議室	相談支援専門員
12月13日	成年後見制度利用促進実務研修会 基礎編 秋田市 秋田県生涯学習センター	相談支援専門員
12月18日	サビ管及び障がい者就労支援に関わる職員と相談支援専門員による研修会 秋田市役所「センタース」	相談支援専門員
2月19日	第2回相談支援部会（地域生活支援拠点プロジェクト） 秋田市役所「センタース」	相談支援専門員

7 職員の定期健康診断

期間	実施人員	検査項目	検診機関
6月5日	1	定期健康診断	ふき健診クリニック

【3】コミュニティライフサポート谷内佐渡ホーム事業の実績

1 総括

事業についてはおおむね計画のとおり実施することができたが、グループホームの利用者に関する周知不足などから、利用者数の増を図ることができなかった。

また、新型コロナウイルス感染症が1月下旬から本県でも大きくクローズアップされ、国や県などからの指導を基にグループホーム内の環境整備や利用者や職員の健康管理に十分留意してきた。

共同生活援助では、利用者が一般就職出来た方がいた。建物や設備にも特に大きな問題もなく、利用者が安全に、安心して暮らせるよう利用者へのアセスメントやモニタリングに十分時間をとり、利用者のニーズを達成するため関係者で話し合いを行い、個別支援の充実を図った。

短期入所は、地域生活拠点機能の整備に係る体制作りを進め、行政や関係機関と連携を深めることで、利用者が増えてきている。

また、職員体制については、世話人を新規に採用することにより利用者への支援体制を整えた。

令和元年度の事業実績は次のとおりである。

2 定員及び現員の状況

(令和2年3月31日現在)

共同生活援助 利用定員 7名 / 現員 4名 (男性4名)

短期入所援 利用定員 3名 / 現員 2名 (男性2名)

3 職員配置の状況

(令和2年3月31日現在)

- | | |
|-------------|---------------|
| ① 管理者 | 1名 |
| ② サービス管理責任者 | 1名 |
| ③ 生活支援員 | 4名 |
| ④ 世話人 | 3名 |
| ⑤ 事務員 | 1名 |
| ⑥ 夜間支援従事者 | 7名(専従3名、兼務4名) |

4 事業の実施状況

(1) 共同生活援助

利用者が安全で安心な日常生活を過ごすことができるよう夜間、休日における起床、就寝、食事提供、身体的支援、日常生活の相談及び助言等を行うとともに、快適な生活を過ごすことができるよう入浴、排泄及び食事等の介助及び支援を行った。

また、個別支援計画は、利用者のニーズに基づいた支援が提供できるよう作成し、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援し、地域との結び付きを重視するため、市町村や他の障害福祉サービスを提供する事業所との密接な連携に努めた。

(2) 短期入所

利用者又はその家族の緊急時における宿泊を伴う支援を提供するため、利用者の身体その他の状況及び置かれている環境に応じた入浴や排せつ、食事の介護等必要な支援を適切に、かつ効果的に行った。

また、地域との結び付きを重視し、市町村や他の障害福祉サービスを提供する事業所との密接な連携に努めた。

5 給食提供の状況

日々の食事が美味しく、満喫できるよう、家庭的な雰囲気の中で、栄養バランスや体調に配慮し、季節を感じられるよう四季の郷土食等も交え提供した。また、食前の手洗い、うがいを励行し、食中毒及び感染症予防を徹底した。

また、調理者の健康管理(健康体、検便)及び衛生管理(手洗い、清潔な服装、着替え)に努め、集団食中毒及び感染症予防に万全を期するとともに、調理室の衛生管理(食器・調理器具等の消毒、調理環境の清掃、整理整頓、害虫等の駆除・消毒)に努めた。

6 健康管理の状況

定期通院や内服管理の支援を行うとともに、血圧測定等を定期的に行うなど、病気の早期発見、早期治療に努めた。

7 衛生管理の状況

(1) 寝具類の交換及びシーツ交換

寝具類(枕、敷・掛布団・毛布等)の交換を年1回、シーツ・カバー類(シーツ、布団・毛布カバー)は毎週1回行い、寝具類の清潔に努めた。

(2) 居室、浴室及びトイレ等の清掃

利用者が自ら居室の清掃（荷物の整理整頓及び床や隅々の清掃）を行うよう支援するとともに、共通部分であるトイレ、浴室、脱衣室、廊下、食堂等の清掃を行い、衛生管理に努めた。

(3) 入浴

入浴日を週3回とし、特に暑い日や汗をかく作業をした日には、希望によりシャワー浴も提供した。また、快適に、そして安全に入浴ができるよう、利用者の状況にあった支援に心がけた。

8 災害事故防止等訓練の状況

① 防災計画

きめ細やかな消防・防災計画の整備と万全な備えを行い、予防に重点を置いた取り組みを実施し、設備の点検・管理や整理・整頓を徹底した。

② 避難訓練

所轄の秋田市城東消防署の指導を得て、日中・夜間（想定）も含めた総合訓練（通報、初期消火、避難、消火器操作訓練等）や地震想定での避難訓練を行うとともに、災害を未然に予防する防火思想の普及・徹底を図った。

また、災害時や停電時における安全対策や機械器具、装置の操作手順の周知に努めた。

9 利用者の状況

(1) 共同生活援助

①市町村別の利用者数

市町村名	身体障害者	知的障害者	その他障害	合計	比率
秋 田 市		2		2	50%
能 代 市	1			1	25%
男 鹿 市	1			1	25%
合 計	2	2		4	100%

②年齢別の状況

区 分	身体障害者	知的障害者	その他障害	合計	比率
20歳未満					
20～29					
30～39					
40～49					
50～59	1			1	25%
60歳以上	1	2		3	75%
合 計	2	2		4	100%
平均年齢	57	64		60	

③利用に至る直前の状況

区 分	身体障害者	知的障害者	その他障害	合計	比率
施 設	2			2	50%
自 宅		2		2	50%
病 院					
そ の 他					

合計	2	2		4	100%
----	---	---	--	---	------

④退所利用者数と退所理由

区分	身体障害者	知的障害者	その他障害	合計	比率
自宅					
他施設					
アパート					
その他		1 (一般就職)		1	100%
合計		1		1	100%

⑤障害手帳等の等級等区分の状況

障害手帳等	身体 1級	身体 2級	身体 3級	身体 4級	身体 5級	身体 6級	療育 A	療育 B	合計
人数	1	1						2	4

⑥障害支援区分の状況

区分	1	2	3	4	5	6	非該当	合計
利用者数	1	1	0	0	1	0	1	4

⑦退所利用者数と退所理由

区分	身体	知的	その他	合計	比率
自宅 (家庭復帰)					
他施設へ変更					
就職		1		1	100%
合計		1		1	100%

(2) 短期入所

①市町村別の利用者数

市町村名	身体障害者	知的障害者	その他障害	合計	比率
秋田市	4	9		13	100%
合計	4	9		13	100%

②年齢別の状況

区分	身体障害者	知的障害者	その他障害	合計	比率
20歳未満		2		2	15%
20～29		2		2	15%
30～39	2	3		5	39%
40～49		2		2	15%
50～59	1			1	8%
60歳以上	1			1	8%
合計	4	9		13	100%
平均年齢	47	28		38	

③月別利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延人数	36	9	12	16	6	6	4	5	3	42	77	69	285
実人数	3	2	4	4	1	2	1	1	1	3	5	3	13

(複数回利用者有)

④障害支援区分の状況

区分	1	2	3	4	5	6	非該当	合計
利用者数	0	4	5	4	0	0	0	13

10 職員の定期健康診断

期 間	実施人員	検査項目	検診機関
5月7日	1名	35歳以下	ふき健診クリニック
5月28日	1名	胸部X線検査、尿検査、心電	
5月31日	1名	図、採血検査他	
6月17日	1名	35歳以上	秋田赤十字病院
6月5日	2名	生活習慣病予防検査、大腸がん検査、乳癌、子宮がん、胃検診	

11 避難訓練の実施

月 日	訓練の想定	訓練内容詳細
6月22日	震災想定訓練	避難誘導
9月7日	夜間火災想定訓練	非常通報、初期消火、避難誘導、消火器操作
3月21日	日中火災想定訓練	非常通報、初期消火、避難誘導、消火器操作

12 会議・研修の実施

期 間	内 容	出席者
5月17日～18日	甲種防火管理新規講習 秋田市文化会館	生活支援員
6月19日	救急救命講習 秋田ワークセンター	生活支援員
9月30日	OJT リーダー研修 秋田県社会福祉会館	生活支援員
10月17日～18日	秋田県身体障害者施設協議会職員研修会 秋田市ユースパル	サービス管理責任者
11月19日～20日	障害者虐待防止・権利擁護研修（虐待防止マネージャーコース） 中央地区老人福祉総合エリア	サービス管理責任者
11月27日	地域生活支援拠点の運営に関する作業部会 秋銀スタジアム会議室	サービス管理責任者

12月19日～20日	キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース） 秋田県社会福祉会館	生活支援員
2月19日	地域生活支援拠点の運営に関するプロジェクト 部会 秋田市役所市民サービスセンター	サービス管理責任者